

ニュースレター 2026年4月

2026年05月20日

目次

「愛知県ベトナムサポートデスク」にご登録いただいた皆様に、4月分のニュースを発信させていただきます。

今号の目次

1. 2026年4月の社会経済情勢に関する報告書
2. ベトナム社会主義共和国国家主席と首相を国会が選出
3. 第16期国会における政府の組織構造
4. 国会は、6名の副首相、各大臣、および政府関係者の任命を承認
5. 日本はベトナム農村地域の企業支援のため5,000万ドルの融資を発表
6. トー・ラム書記長兼国家主席、高市早苗日本の総理大臣と電話会談
7. レ・ミン・フン首相がエネルギー自給に関するAZEC+サミットに出席
8. 職員の研修および能力開発におけるベトナムと日本の協力関係を促進
9. ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップのさらなる深化

2026年4月の社会経済情勢に関する報告書

出所：Thông tin điện tử Cục Thống kê (www.nso.gov.vn)
ベトナム財務省統計局

1. 鉱工業生産指数（IIP）

2026年4月の鉱工業生産指数（IIP）は、前月比3.0%増、前年同月比9.9%増と予測しています。具体的には、加工製造業は前年同期比で10.0%増加し、水道・廃棄物・廃水管理・処理は7.1%増加し、発電・配電業は10.9%増加します。

2. 企業登録状況

– 4月の新規設立企業は20,400社で、前月比7.1%減、前年同月比33.9%増となりました。営業を再開した企業は約9,500社で、前月比19.8%増、前年同月比5.1%減でした。一定期間の営業休止登録企業は8,863社で、前月比75.2%増、前年同月比23.4%増でした。解散手続きを保留して営業を停止した企業は5,388社で、前月比14.5%減、前年同月比40.1%減でした。解散手続きを完了した企業は3,473社で、前月比9.0%減、前年同月比98.5%増でした。

3. 投資状況

– 2026年4月27日現在、ベトナムにおける外国投資登録資本総額（新規登録資本、調整登録資本、出資および株式購入額を含む）は182億4000万ドルで、前年同期比32.0%増加しました。

– 2026年の最初の4か月間にベトナムで実施された外国直接投資は74億米ドルと推定され、前年同期比9.8%増加しました。

– 2026年の最初の4か月間のベトナムから海外への投資は、74件の新規投資証明書が発行され、ベトナムからの資本総額6億9,110万米ドル、前年同期比2.6倍となりました。また、資本を調整したプロジェクトが4件あり、調整資本は2,280万米ドル増加、43.2%減となりました。全体として、ベトナムから海外への資本総額（新規および調整資本）は7億1390万米ドルに達し、前年同期比2.3倍となりました。

4. 輸出入統計

4月の輸出入総額は943億2000万米ドルに達し、前月比0.8%増、前年同期比26.7%増となりました。2026年最初の4か月間の輸出入総額は3441億7000万米ドルに達し、前年同期比24.2%増となりました。輸出は19.7%増、輸入は28.7%増です。

– 商品輸出：4月の輸出額は455億2000万米ドルに達し、前月比2.0%減、前年同期比20.1%増となりました。

– 商品輸入：4月の輸入額は488億米ドルに達し、前月比3.6%増、前年同期比32.5%増となりました。

2026年4月の社会経済情勢に関する報告書

出所：Thông tin điện tử Cục Thống kê (www.nso.gov.vn)
ベトナム財務省統計局

5. 消費者物価指数(CPI)

– 2026年4月の消費者物価指数（CPI）は、前月比0.84%上昇、2025年12月比3.31%上昇、前年同月比5.46%上昇しました。

6. ベトナムへの外国人旅行者

4月のベトナムへの外国人旅行者数は203万人を超え、前年同期比22.8%増となりました。2026年の最初の4か月間では、ベトナムを訪れた外国人観光客は880万人に達し、前年同期比14.6%増となり、過去最高の年初からの4か月間の観光客数を記録しました。

ベトナム社会主義共和国国家主席と首相を国会が選出

(出所：BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ)

リンク：<https://xaydungchinhsach.chinhphu.vn/ngay-7-4-quoc-hoi-tien-hanh-bau-chu-tich-nuoc-thu-tuong-chinh-phu-119260406234330164.htm>

<https://baochinhphu.vn/dong-chi-le-minh-hung-duoc-bau-giu-chuc-thu-tuong-chinh-phu-102260407151255407.htm>

第16期国会第1回会義の議事日程によると、国会は4月7日に、国家主席や首相を含む主要な国家指導者の選出手続きを進めました。



495名の議員全員が賛成票を投じ、国会はトー・ラム書記長を2026年から2031年までの任期でベトナム社会主義共和国国家主席に選出する決議を可決しました。その後、トー・ラム氏は直ちに就任宣誓を行い、就任演説を行いました。

495名の議員全員が賛成票を投じ、政治局委員、党中央委員会書記、中央組織委員長のレ・ミン・フン氏を2026年から2031年までの任期でベトナム社会主義共和国政府首相に選出する決議が、国会で可決されました。

決議可決後、レ・ミン・フン新首相は直ちに就任宣誓を行いました。

第16期国会における政府の組織構造

(出所: **BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ**)

リンク：<https://xaydungchinhsach.chinhphu.vn/thong-qua-nghi-quyet-ve-co-cau-to-chuc-cua-chinh-phu-nhiem-ky-quoc-hoi-khoa-xvi-119260407125856043.htm>

4月7日午前、国会は新政府の組織構造に関する決議を可決しました。これにより、第16期国会任期における政府の組織構造は、14の省庁と3つの省級機関で構成されることになりました。

1. 国防省;

2. 公安省;

3. 外務省;

4. 内務省;

5. 司法省;

6. 財務省;

7. 商工省;

8. 農業環境省;

9. 建設省;

10. 文化スポーツ観光省;

11. 科学技術省;

12. 教育訓練省;

13. 保健省;

14. 民族宗教省;

15. 国家銀行;

16. 政府監査院;

17. 政府官房

国会は、6名の副首相、各大臣、および政府関係者の任命を承認

(出所: BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ)

リンク：<https://baochinhphu.vn/quoc-hoi-phe-chuan-bo-nhiem-6-pho-thu-tuong-cac-bo-truong-va-thanh-vien-chinh-phu-102260408130112084.htm>

出席した国会議員全員が賛成票を投じ、国会は2026年から2031年までの任期における6人の副首相、各大臣、および政府関係者の任命を承認する決議を可決しました。

第16期国会第1回会期の議題を引き継ぎ、4月8日午前、国会は非公開会合を開き、レ・ミン・フン首相による政府構成員の定数に関する提案書、および国会の承認を求める副首相、大臣、その他の政府構成員のリストに関する提案を聴取しました。

その後、国会は政府の構成と構成員数について審議・採決を行い、副首相、大臣、その他の政府構成員の任命を承認しました。その結果、出席した493名の国会議員のうち493名が賛成票を投じました（これは出席した国会議員の100%、国会議員総数の98.60%に相当する）。



国会は、2026年から2031年の任期における副首相、大臣、その他の政府メンバーの任命を承認する投票を行いました。任命されたのは、ファン・ヴァン・ザン副首相兼国防大臣、ルオン・タム・クアン公安大臣、レ・ホアイ・チュン外務大臣、ドー・タン・ビン内務大臣、ホアン・タイン・トゥン司法大臣、ゴ・ヴァン・トゥアン財務大臣、レ・マイン・フン商工大臣、チン・ヴィエット・フン農業環境大臣、チャン・ホン・ミン建設大臣、ラム・ティ・フォン・タイン文化スポーツ観光大臣、ヴ・ハイ・クアン科学技術大臣、ホアン・ミン・ソン教育訓練大臣、ダオ・ホン・ラン保健大臣です。グエン・ディン・カン少数民族・宗教大臣、ファム・ドゥック・アン・ベトナム国家銀行総裁、グエン・クオック・ドアン政府監察院長、ダン・スアン・フォン政府官房長官です。

日本はベトナム農村地域の企業支援のため5,000万ドルの融資を発表

(出所: BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ)

リンク : <https://baochinhphu.vn/nhat-ban-cong-bo-khoan-vay-50-trieu-usd-ho-tro-doanh-nghiep-vung-nong-thon-viet-nam-102260413153537603.htm>

4月13日、ハノイにおいて、国際協力機構（JICA）とベトナム投資開発銀行（BIDV）は、農村地域における中小零細企業（MSME）支援プログラムの融資実行完了を発表する式典を開催しました。協定に基づき、この融資はBIDVの中長期資本の拡大を促進し、特に資金調達が困難な農村地域のMSMEへの再融資を可能にします。



このプログラムは、資金へのアクセスを改善することで持続可能な経済発展を支援することを目的としています。これにより、企業の生産・事業拡大、雇用創出、そして特に農業分野における人々の所得向上に貢献します。

また、この資金は、貧困撲滅、食料安全保障、持続可能な開発のためのパートナーシップ強化など、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献します。

今回のイベントは、プログラムの実施における重要な一歩であり、ベトナムの金融機関と協力して民間セクターの発展を促進し、金融包摂を強化し、特に農村部や恵まれない地域における経済的回復力を向上させるというJICAの長期的なコミットメントを改めて示すものです。

トー・ラム書記長兼国家主席、高市早苗日本の総理大臣と電話会談

(出所: BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ)

リンク：<https://baochinhphu.vn/thu-tuong-doi-thoai-voi-doanh-nghiep-nhat-ban-moi-truong-dau-tu-cua-viet-nam-se-tro-thanh-uu-the-noi-troi-102260321181611663.htm>

4月13日午後、トー・ラム書記長兼国家主席は、自由民主党（自民党）代表兼高市早苗総理大臣と、党中央本部で電話会談を行いました。

会談の中で、高市総理大臣は、トー・ラム書記長がベトナム共産党中央委員会書記長（第14期）およびベトナム社会主義共和国国家主席に選出されたことを祝福しました。



高市総理大臣は、日本がベトナムとのあらゆる分野における協力関係を強化していきたいとの意向を表明しました。

トー・ラム書記長兼国家主席は、今年2月の衆議院選挙における自由民主党の勝利と、高市総理大臣の再選を祝いました。日本が今後も地域および世界の平和、安定、協力、発展に積極的に貢献していくとの確信を表明しました。

両首脳は、ベトナム・日本包括的戦略的パートナーシップが全分野において前向きかつ包括的に発展していることに喜びを表明し、両国間のハイレベル代表団の交流を強化するとともに、防衛・安全保障、経済、科学技術、デジタル変革、グリーン変革、エネルギー安全保障、労働、保健、地方自治などの分野における実質的な協力を推進することで合意しました。

急速に変化する世界情勢、エネルギー安全保障への悪影響、サプライチェーンの混乱といった状況を踏まえ、トー・ラム書記長兼国家主席は、エネルギー安全保障の確保を含む地域および国際問題の解決に貢献するため、日本との連携を強化したいとの意向を表明し、今後も地域および国際問題について日本と緊密に連携していくことを確認しました。

高市総理大臣は、ベトナムの地域における地位と役割を高く評価し、ベトナムが日本の「自由で開かれたインド太平洋構想（FOIP）」の実現における重要なパートナーであると述べました。そして、日本はベトナムの独立自主政策を高く評価し、新時代におけるベトナムの発展目標達成を支援することを改めて表明しました。

この機会に、トー・ラム書記長兼国家主席は、日本の天皇皇后両陛下および高市早苗総理大臣に対し、適切な時期にベトナムを訪問していただくよう丁重に招待しました。

レ・ミン・フン首相がエネルギー自給に関するAZEC+サミットに出席

(出所: BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ)

リンク : <https://baochinhphu.vn/thu-tuong-le-minh-hung-tham-du-hoi-nghi-thuong-dinh-azec-mo-rong-ve-tu-chu-nang-luong-102260415161200793.htm>

4月15日、レ・ミン・フン首相は、高市早苗日本総理大臣の招待を受け、高市早苗総理大臣が議長を務めるエネルギー自給に関するアジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）拡大オンライン首脳会議に出席しました。サミットにおいて、レ・ミン・フン首相は、エネルギー問題への対応とサプライチェーンの維持に向けた協力の3つの主要な方向性を提案しました。



レ・ミン・フン首相は、2050年までのネットゼロ排出達成に向けたベトナムの取り組みを改めて表明し、再生可能エネルギー開発とグリーン移行を戦略的優先事項として位置づけた上で、エネルギー問題への対応とサプライチェーンの維持に向けた協力の3つの主要な方向性を提案しました。

第一に、短期的には、各国はエネルギー源の多様化、貿易の円滑化、そして特にエネルギーと食料分野におけるサプライチェーンの円滑な機能確保のために、協力と政策協調を強化する必要があります。

第二に、中長期的には、統合的なエネルギーインフラの開発、戦略備蓄の強化、技術移転の促進を通じて、経済の戦略的自主性と強靭性を高める必要があります。

第三に、各国それぞれの能力と実情に応じて、AZECの枠組みにおける協力事業の効果的かつ実質的な実施を加速させる必要があります。

フン首相は、AZECをAZEC 2.0にアップグレードする構想を支持するとともに、現在および将来の世代のために、より環境に優しく、より持続可能で、より豊かな未来を共に創造するため、日本をはじめとするパートナー諸国と引き続き積極的かつ緊密に協力し、AZECの取り組みを効果的に実施していくというベトナムの決意を改めて表明しました。

高市総理大臣は、ベトナムをはじめとする各国首脳による、現状に即した、意義深い演説と提案に感謝の意を表しました。また、関係機関に対し、これらの構想をできる限り速やかに具体化するため、他国との連携を速やかに進めるよう指示すると述べました。

職員の研修および能力開発におけるベトナムと日本の協力関係を促進

(出所: **BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ**)

リンク : <https://baochinhphu.vn/thuc-day-hop-tac-viet-nam-nhat-ban-trong-dao-tao-nang-cao-nang-luc-can-bo-co-so-102260416162344377.htm>



4月16日午後、政府本部において、ファム・ティ・ティン・チャ・ベトナム共産党中央委員会書記兼副首相は、イーレックスグループ（日本）会長兼CEOの本名均氏と会談しました。

会談の中で、ファム・ティ・ティン・チャ副首相は、本名均氏および代表団に対し、心からの感謝の意を表し、2022年から協定に基づきベトナム内務省とイーレックスグループ（日本）が共同で実施している、行政能力向上、特に末端職員、若手公務員、女性職員を対象とした研修プログラムを高く評価しました。

本名均氏は、会談のために時間を割いてくれた副首相に感謝の意を表し、ベトナムが2026年から2031年の任期に向けて新指導部を発足したことを祝福するとともに、これまでの統治努力を高く評価しました。

本名均氏は、イーレックスグループはベトナムとの質の高い人材育成におけるパートナーシップを継続したいと述べました。同氏によれば、人材育成は長期的な活動であり、持続可能な発展の重要な基盤となるため、イーレックスは今後も協力プログラムを維持・拡大し、ベトナムの社会経済発展に実質的な貢献をしていくとのことでした。

チャ副首相は、イーレックスグループの生産・事業活動の継続的な成功を祈念し、日本とベトナム両国の経済発展に積極的に貢献していくことを期待すると述べました。

ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップのさらなる深化

(出所: **BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ**)

リンク :<https://baochinhphu.vn/lam-sau-sac-hon-nua-quan-he-doi-tac-chien-luoc-toan-dien-viet-nam-nhat-ban-102260428210253397.htm>

レ・ミン・フン首相の招待により、高市早苗総理大臣は2026年5月1日から3日までベトナムを公式訪問します。

訪問に先立つ記者会見で、伊藤直樹駐ベトナム日本大使は、ベトナムが新たな指導体制を発足したばかりという状況において、高市総理大臣の訪問は、日本政府および高市総理大臣個人がベトナムをいかに重視しているか、そしてベトナムの地域および国際社会における役割をいかに重視しているかを示すものであると述べました。



伊藤直樹大使は、今回の訪問は両国首脳間の信頼関係構築を目的とするとともに、4つの主要な柱を中心にベトナムと日本の関係をさらに促進することを目的としていると述べました。

第一に、「新時代」のODA資源を活用し、半導体、デジタルトランスフォーメーション (DX) / グリーントランスフォーメーション (GX)、AI、イノベーション、科学技術などの分野における協力が推進されます。

第二に、エネルギー安全保障と戦略的インフラに関する協力が推進されます。

第三に、外交・安全保障分野における協力は、地域の平和と安定の維持に貢献します。

第四に、人的交流、文化交流、学術交流における協力が推進されます。